

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		さくらひがしみどりのふたば		公表日			2025 年 2 月 10 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	職員討議		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	集団活動など、1階と2階に分かれるなど工夫している	今は低学年が主だが、高学年になるにつれて体格も大きくなると狭さを感じると思うトイレでの介助ができない	増築などは難しいものの、介助スペースの確保に努めなければならない		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	3		職員の配置人数が足りていない時があるので増やしてほしい より子どものためのサービスを提供するためには職員を増やした方がいい	児童らの特性に合わせて必要最低限の人数は確保していく必要がある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	子どもたちが使いやすくなるよう、足台や手すりの配置をしている	玄関に手すりがあった方がいい バリアフリー化は難しい	低学年が多く、手洗い場などは手製踏み台などを使用し、使いやすいよう工夫している 玄関の段差は踏み台などの工夫が必要		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動に合わせて配置を変え、危険のないようにしている		活動内容に合わせて必要最低限の物は片付け、環境設定をしている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				2階の部屋の活用、仕切りを使っの個別環境の設定を行っている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				職員会議だけでなく、日々情報共有を行い、支援内容や目標設定についての話ができています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		計画書を見て把握し、支援をしている		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて、その内容を業務改善につなげていきたいと思います。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		密にコミュニケーションをとり、業務の確認をしている		日々情報共有を行い、業務の確認、改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者により外部評価の実施	第三者による外部評価について、情報を集め、必要に応じて外部評価の実施を検討していきたい		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	3		質の向上になるように安定した職員とプログラムの見直しが必要 支援員の数上、研修受講の余裕がない	研修実施時間が支援時間内であることが多く、支援員の数が足りていないこともあり、参加が難しい		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				職員間で話合った支援プログラムを作成し、HPに記載している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				児童らに個別アセスメントを実施、意向確認を行うとともに保護者のニーズや課題を分析した上で、児童発達支援計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				支援会議を実施し、アセスメント内容だけでなく、日々の様子を話合う機会を設けている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				支援員全員に回覧をし、記録も計画書に基づいた内容に徹底している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				施設外での児童の様子（学校や他事業所・ご家庭等）についても共有しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				今後も引き続き、ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目を適切に設定して、計画の作成に努めます		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				その日の利用児童に合わせて活動内容を工夫している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2		固定化されたプログラムがあり、子どもの様子に合わせて変えていきたい	日々の活動での変化はあるが、曜日で見ると固定化されていると感じるため、工夫が必要		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				来所時間が様々であるため、個別活動、集団活動での組み合わせでの支援実施 必要に応じて個別対応実施		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				人数が多い時などは、小集団で分かれての活動など、支援員で話し合い、連携した支援ができています		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				その日の内に話ができているわけではないが、次の日など情報共有を行っている		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				個別支援計画に基づいた記録を行い、学校での様子や保護者からの共有なども記録している		

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				定期的にモニタリング、アセスメントを実施し、計画書の見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5				職員全員への「4つの基本行動」の存在を周知してより良い支援へとつなげていきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				子ども主体での活動参加を実施し、自己選択が難しい児童には、2択で問いかけるなど、工夫している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				児童発達支援管理責任者が主に参加しているが、参加前には情報共有を密に行い、児童の様子を話合ってから参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		地域連携を図る	セルフプランの方も多く、関係機関との連携が難しい場合もあるが、空きがあるかなど情報共有に努めている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				学校との連携ではなく、保護者との連携が主 確認事項は送迎時、事前に確認を行うなど工夫している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2			今後必要に応じて、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有に努めていきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		2		現在必要としていない現状であるが、今後提供する必要が出てくるように思う	現在、学校の卒業環境がないが、今後は必要になってくる
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		地域連携を図る	今後も地域連携を図る工夫が必要
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	一緒に活動する機会はないが、外出時など地域交流は少なからずある	地域交流できる場を設け、参加できるようにする	地域交流できる場の設定、積極的な参加が必要
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		協議会への参加ができるような環境づくり	参加できる環境づくりが必要
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				送迎時だけでは時間が限られているが、LINEや電話での相談、支援提案など適宜行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1			外部研修などのパンフレットの配布には努めているが、参加を促す声かけの対応などはできていない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				今後も役割分担の中で、管理者や常勤の職員がきっちり行っていきたいと思います
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				計画書の見直し時だけでなく、必要に応じて意向確認を行うことができる
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				児童発達支援管理責任者が責任をもって説明し同意を得ている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				LINEや電話での対応だけでなく、必要に応じて面談も実施している
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会等の開催の検討	父母会の必要性は感じているが、実施までには至っていない 保護者からも手伝いますとの声も出ているため、実施を検討していかないといけない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				苦情があれば、職員間で共有し、再発防止に努めている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				Hugにて活動内容の記載、連絡事項なども発信している SNSは個人情報の観点から実施していない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				今後も個人情報の取扱いに十分留意していきます
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				日本語の読み書きが難しい家庭には、直接電話での対応を行うなど、工夫に努めている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		事業所開催の行事の計画、実施	地域住民を招待する行事の開催ができていない
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3		児童を含めた実践訓練の実施、保護者への伝達	実際の避難訓練が実施できていない 実施を行い、保護者への共有も図る必要性がある
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		5		訓練の実施、保護者への伝達	実際の避難訓練が実施できていない 実施を行い、保護者への共有も図る必要性がある

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				アセスメント時に情報共有を行い、支援員全員への情報共有を実施 その都度、追加情報があれば共有している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		アレルギー対応はしている	保護者からの情報共有をもとに、アレルギー対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		研修、訓練の実施	研修や訓練の実施はできていないが、少人数での活動など安全面に考慮した対応を行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1			緊急連絡先などの共有はできているものの、家族への周知まではできていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2		細やかなヒヤリハットの情報共有強化	職員会議で話合う機会を設け、再発防止に努めている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				研修の機会を提供できていないため、今後は研修にも参加していく必要性あり
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				アセスメント時に児童発達支援管理責任者から説明を行い、計画書への記載もしている